

平成30年第15回

仙北市教育委員会定例会会議録

平成30年11月29日

仙北市教育委員会

平成30年第15回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成30年11月29日(木) 午後1時20分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	河原田 修
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲

4 出席した事務局職員

教育部長	戸澤 浩
教育次長	浦山 英一郎
教育次長兼教育総務課長	
兼田沢湖学校給食センター所長	
兼西木学校給食センター所長	浅利 美智子
北浦教育文化研究所長	三浦 政喜
角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
生涯学習課長	佐々木 幸美
田沢湖公民館長	真崎 智明
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	高橋 徳夫
学習資料館・イベント交流館長	富岡 美津子
スポーツ振興課長	伊藤 聡
文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 議案審議

議案第24号 平成31年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第33号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、平成30年第15回仙北市教育委員会11月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には村瀬課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後にお願

たします。

(熊谷教育長)

今年も、多くの教育研究会が開催されました。中でも大きな研究会として、11月2日に生保内小学校及び市民会館を会場にして「第25回東北小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会秋田大会」が開催されました。当日の参加人数は320人となりました。遠くは、静岡県からの参加者もおられ、市内の小中学校の先生はもとより、市内認定こども園の先生からの参加をいただき、大変内容が充実した研究大会となりました。その中の記念シンポジウムでは、歴代を含め3名の文部科学省教科調査官がシンポジストとして参加いただき、教科調査官がつなぐ生活科・総合的な学習の未来をテーマに大変貴重なご意見等をいただきました。また、8年前に生保内小、中学校を会場に開催された第1回秋田県学習向上フォーラム同様に子どもたちがとても活発で主体的な大変すばらしい公開授業等になりました。

次に、11月3日に樺細工伝承館を会場として新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念式典並びに第58回文化講演会が開催されました。記念式典に続いて行われた文化講演会では、作家の梨木香歩さんからご講演をいただき、大変有意義な記念事業となりました。当事業には、新潮社の代表取締役社長からもお越しいただき、世界の文学界を牽引している新潮社に関わる事業を仙北市で開催できるということは、とても幸せなことであるし、誇りに思いながら参加しました。

次に、11月20日にグランデールガーデンを会場にして、秋田県都市教育長協議会教育長・関係課長会議が開催されました。会議では、初めに、浦山教育次長、三浦北浦教育文化研究所長から「登下校時等の安全確保に向けた取り組み」と「情報モラル教育の充実に向けた取り組み」について発表を行い、その後、これをテーマとして、とても活発な意見交換会が行われました。後日、参加された教育長さん数名から電話があり、職員の対応が良かったと感謝のお言葉をいただきました。やはり、お客様が来られた時のみならず、部課職員の対応も含めて、様々な面に影響を及ぼしますので、ホスピタリティについてはよろしくお願ひしたいと思います。

(熊谷教育長)

次に、11月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

11月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、議案第24号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費について説明を求めます。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

議案第24号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費について説明いたします。

なお、新年度予算は要求段階となりますので、各課(所)長から事業等の説明をさせていただきます。

また、当局からは、財政調整基金の取り崩しに頼らないとの通達がありましたので、大変厳しい予算編成が想定されます。

－資料により説明－

(主な新年度予算事項の説明要旨)

【教育総務課関係】

- ・新年度の小中学校児童・生徒数は、今年度より 60 人の減で 1,626 人となる見込みである。
- ・働き方改革に伴い教職員の多忙化防止対策を図るため、新規事業として校務支援システム運用事業費に関わる経費を計上している。
- ・複式学級指導支援員派遣事業費で、1 名増員の賃金を計上している。
- ・生保内小学校長寿命化改修事業費で、実施設計業務委託料を計上している。
- ・平成 3 2 年度からの小学校英語の教科化実施に伴い、外国語活動を充実させるため、支援員に係る経費を計上している。
- ・小学校施設大規模改造事業費で、桧木内小学校体育館、白岩小学校校舎棟の大規模改修に係る設計監理・工事監理委託料及び工事請負費を計上している。

【北浦教育文化研究所関係】

- ・学校適正配置研究検討事業費で、中川小学校と角館小学校の統合に向けた開校準備委員会（仮称）の開催経費を計上している。
- ・新規事業として、仙北市少年少女合唱団育成事業費で指導講師、ピアノ伴奏講師の謝礼等の経費を計上している。
- ・新規事業として、本年 1 2 月 5 日に角館中学校と恵文高級中学が姉妹校提携を締結することから、交流事業に係る角館中学校の渡航経費を計上している。

【総合給食センター（仮称）関係】

- ・総合給食センター（仮称）の建築工事及び厨房設備工事の入札が執行され、1 1 月 2 6 日に落札業者が決定した。市議会 1 2 月定例会に請負工事契約の締結議案を追加提案することとしている。
- ・運用準備期間となる 2020 年 3 月分の高熱水費、新給食費管理システム構築のための委託料を計上している。
- ・総合給食センター建設事業費で、設計・工事監理委託料、工事請負費及び備品購入費（厨房用、施設設備）に係る経費を計上している。

（千葉角館学校給食センター所長）

【学校給食センター関係（3センター）】

- ・歳入の給食費で、市内小中学校及び大曲支援学校せんぼく校の児童、生徒及び教員の予定人数分を計上しているが、児童、生徒の人数に伴い年々減少している状況である。
- ・給食センター管理運営費で、3センター共に調理業務委託料、各種保守点検業務委託料、需用費等施設運営に係る経費を計上している。
- ・田沢湖学校給食センターの車両維持管理費で、給食配送車 2 台と公用車 1 台の車検代等維持管理費を計上している。

（佐々木（幸）生涯学習課長）

- ・歳入の地域学校協働本部事業費補助金で、例年、角館地区の角館小学校と中川小学校に協働本部を設置していたが、新年度からは、田沢湖地区の生保内小学校に新たに設置したいということで、前年度比増で計上している。また、今後は神代地域にも協働本部を設置したいと考えている。
- ・一般総務費で、平成 3 2 年度から 5 年間の計画期間となる子ども読書活動推進計画策定に伴う印刷代を計上している。
- ・読書活動推進パートナー支援事業費で、秋田県は日本一の読書推進県を目指していることに伴い、平成 2 9 年度から 3 年間、県内全市町村の実施に向けて取り組んでいる。このようなことから、来年度は最終年度にあたり、仙北市においても、当事業補助金制度を活用して、市内の金融機関、病院、商店、観光施設等と連携を行いたい。市民が身近な所で読書に親しむことができる環境を提供するため施設内に図書コーナー等を

設置するなどして読書拠点づくりに取り組みたいと考えていることから関連の経費を計上している。

- ・新規で、青少年育成秋田県民会議負担金を計上している。これについては、今年度まで市民生活課が所管部署となっていたものであるが、県内各市町村では、概ね生涯学習関連事業の所管部署が担当している状況である。このようなことから、市民生活課から所管変えの要請もあり、新年度から生涯学習課が担当することになった。

(真崎田沢湖公民館長)

- ・事業内容については、ほぼ例年同様となっているが、新規事業として、田沢湖公民館活動推進事業費に学校連携事業の報償費など関連経費を計上している。

(佐々木(勇)角館公民館長)

- ・角館公民館管理運営費で、角館東地区公民館の屋根補修修繕、男子トイレ修繕料他に係る経費を計上している。
- ・角館公民館管理運営費で、角館東地区公民館の支障枝伐採委託料、体育館渡り廊下屋根改修工事実施設計業務委託料他を計上している。
- ・角館公民館管理運営費で、角館東地区公民館の渡り廊下屋根改修工事、野球場フェンス修繕工事に係る工事請負費を計上している。
- ・角館公民館活動推進費で、文化財課所管事業の伝統的建造物群保存地区防災施設整備工事に伴い、公民大学園芸学科ダリア園花壇を移設しなければならなくなったため、花壇の新設工事に係る経費を計上している。
- ・武家屋敷小野崎家管理運営費で、武道館床洗浄及びワックス塗布業務に係る委託料を計上している。

(保坂西木公民館長)

- ・歳入、歳出共に例年同様の要求内容となっているが、西木公民館活動推進事業費の各事業で活動内容の拡充を図り取り組みたいと考えている。

(高橋市民会館長兼田沢湖図書館長)

【市民会館関係】

- ・管理運営費で、会議室が各種行催事の来賓控室・待機室として使用されていることから、エアコン取付工事に係る経費を計上している。
- ・市民会館施設整備事業費で、受電設備高圧機器更新工事及び舞台吊物機器の安全確保のため改修に係る実施設計委託料を計上している。
- ・生保内節全国大会実行委員会負担金で、ここ数年財政的に運営が困難な状況になっていることから、前年度比増額で計上している。

【田沢湖図書館関係】

- ・管理運営費で、今年度を実施したUVカット・カットシール貼り付け修繕の残存箇所部分の経費他修繕料及び破損している返却ボックス他、備品購入費を計上している。
- ・図書館安心・安全快適環境づくり事業費で、図書館照明として照度不足箇所があることから、この解消に係る照明器具増設工事及び天井暖房用ファンコイル交換工事に係る経費を計上している。

(富岡学習資料館・イベント交流館長)

- ・学習資料館利用促進費及び学校図書館支援事業費で、非常勤職員、学校図書館支援員1名ずつを増員した内容で賃金を計上している。現在、学習資料館では、職員、臨時職員計8人で1人あたり約2万6千冊を管理している状況である。県内各施設では、1人あたりの管理冊数が約8千冊から約1万4千冊という状況となっている。このようなことから、この予算については、毎年要求していることになるが、今回も強い思いを込めて関連経費を要求している

- ・今年3月にすてきな育児のために、読書によるリフレッシュタイムを提供する「読書でリフレッシュ in 学習資料館」事業を開催した。各協議会や委員の方々から開催要望をいただいていることもあり、新年度においても実施したいと考えている。
- ・イベント交流館展示費で、巡回展「矢来町のたからものー佐藤俊夫新潮社会長旧蔵資料の輝き」開催に係る経費を計上している。佐藤俊夫は元新潮社会長で佐藤義亮の二男である。当人は、太宰治や島崎藤村などの大変貴重な原稿、資料を貯蔵しており、本年日本近代文学館にこの大部分を寄贈された。また、学習資料館にも佐藤俊夫文庫として多くの図書を寄贈されていることから、先に新潮社記念文学館で巡回展を開催したいという思いを込めて関連経費を要求している。

(伊藤スポーツ振興課長)

- ・歳入のスポーツ振興くじ助成金について、これは、神代スポーツクラブを対象としているものであり、来年度が最終年度となる。
- ・田沢湖マラソン大会負担金について、来年度は公認コースの更新料の負担が生じることと、現在、会場が舗装工事を行っていることから、今後、看板等設置の際に木杭や鉄筋を打って固定することが出来なくなる。このようなことから、看板設置のためのウエイト等の購入費を含め施設の充実を図るため前年度比増の要求額としている。
- ・第32回全日本MTB選手権大会補助金を計上している。これに関連して、2年続けて、田沢湖MTBフェスティバル Coupe du Japon MTB が開催されたが、来年度は、田沢湖スポーツセンター及びたざわ湖スキー場で全日本選手権大会が開催されるということで、新規となる。
- ・県軟式野球連盟からの要望を受け、第23回東北少年軟式野球大会補助金を計上している。この大会は、8月3日、4日に落合球場、生保内球場で開催予定である。なお、魁新報社他主催の全県少年野球大会から繋がる東北大会とは別で、軟式野球連盟主催の大会となる。
- ・体育施設関係について、前年度比で若干の増減となるが施設の老朽化に伴う修繕等が大きな要因となる。このような予算要求の中で、市民の健康づくり、体育、スポーツの推進、施設管理について進めていきたいと考えている。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

【文化財課関係】

- ・歳入で、重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金を計上している。これは、河原田家改修工事（3期）外構工事、柴田家棟門屋根葺き替え工事費に充当するものである。
- ・歳入で、伝建郡防災施設整備事業費補助金を計上している。これは、伝建群Fブロックの防災施設整備工事・工事監理費に充当するものである。
- ・2020年が角館町割り400年の記念になることから、記念行事準備に取り掛かるための旅費、PRグッズ等の消耗品費を計上している。
- ・ユネスコ無形文化遺産魅力発信事業について、5月に秋田市で開催される「食と芸能大祭典」の出演に係る委託料を計上している。これは、今年度まで観光課で予算措置をしていたが、東北山鉾屋台協議会が設立されたことに伴い、ユネスコ文化遺産のPR事業として文化財課で計上する。また、事業費補助金は角館のお祭り保存会会計の歳入扱いとなる。
- ・歴史的風致維持向上計画策定事業費で、平成31年度から歴史的まちづくりに向けて計画策定の準備に取り掛かることとしていることから関連経費を計上している。

【平福記念美術館関係】

- ・常設・企画展示費で、例年同様に年5回開催する企画展・常設展に係る経費を計上し

ている。

- ・平福記念美術館冷温水発生機更新事業費で、ボイラーの老朽化により修繕を繰り返して行ってきたが、火災を発生する危険性の指摘を受けている。こうしたことから、冷温水発生機更新に係る実施設計、工事監理委託料及び工事請負費を計上している。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(橋本委員)

北浦教育文化研究所費のJFA夢先生招聘事業費について、これまでは、小学校分の予算しか措置されていなかったのが、是非、中学校分についても粘り強く要求していただきたいと思います。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

中学校生徒にも夢先生事業を体験させてあげたいという思いから、今回も小中学校分の委託料を計上し要求しています。

(橋本委員)

角館公民館管理運営の角館東地区公民館野球場フェンス修繕工事について、関係団体等からの要望の有無や利用状況等を整理、把握して予算折衝に対応いただきますようお願いします。

次に、文化財課の旧岡田家管理事業費で、旧岡田家の使用頻度等はどのような状況でしょうか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

旧岡田家居間の天井が腐食して抜け落ちている状況です。応接室手前の部屋はきれいになっていますが、居間の天井が腐食していることから、ネズミが中に侵入したりして、一般の方が利用できるような状況ではありません。このような現状ですので、建物を改修しなければ、快適な状態で使用できる状況ではないと捉えています。このようなことから、町内会の集まりや作業員等の休憩時等で依頼があった際に使用している状況です。

(橋本委員)

給食収入について、今年度新設された収納推進課と連携して滞納繰越分の解消に努めるという方針でしたが、収納状況を伺います。

(千葉角館学校給食センター所長)

平成30年度分は、まだ集計結果が出ていない状況です。平成29年度の現年度分の収納率は98パーセントを超え、年々収納率が上がっている状況です。また、滞納繰越分についても収納率が98パーセントに達し、滞納繰越分の積み上げ額が初めてマイナスとなり、滞納繰越分の解消に努めている状況です。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

現在、収納推進課との連携が行われていない状況です。私債権と市債権をまとめて徴収することができないことなど、法的に弊害となっていることなどが要因となっています。このようなことから、徴収を可能にするための要綱の策定や誓約書の徴取等、収納推進課と連携ができるための基盤の構築に向けて協議している状況です。

(橋本委員)

歴史的風致維持向上計画策定事業について、市長が前回の総合教育会議の中で、力を入れてお話しをされていました。文化財課では、新年度予算に要求されていますが、建設課においては、同様に予算要求しているのでしょうか。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

現在、計画策定に向けて建設課と協議を行っています。なお、職員の研修及び会議への旅費については、建設課と予算要求についての打合せも行っている状況です。また、市長

には担当部署のことや、職員数は最低3人が必要であるということなど、新年度に向けて調整をお願いしている状況です。

(安部教育長職務代理者)

これは、要望になります。教育委員会として、新年度予算編成の方針をきちんと整理し確認をしておいていただきたいと思います。今後の市議会への説明や様々な場面で必要になることがあると思いますので、是非、考慮していただきたいと思います。

次に何点かを質問させていただきます。

初めに、校務支援システム運用事業費について、統合型校務支援システムとは具体的にどのようなシステムでしょうか。

(浦山教育次長)

現在、学校現場においても、働き方改革が叫ばれています。時間外勤務時間が月100時間を超えてしまうなどという事態が大変危惧されています。文部科学省から、このようなシステムを導入して、教員の負担をいくらかでも軽減するための方針が打ち出されていることもありますので、今回、是非導入したいという思いで要求しています。具体的には、これまでは、教員の事務が単体で処理されていたものが、統合型システムに凝縮されるということで、事務の効率化が図られ、教員の負担軽減が期待できるというものです。

(安部教育長職務代理者)

橋本委員の発言にもありましたが、角館東地区公民館野球場フェンス修繕工事について、私も一市民、野球場の利用者として、まだ、予算要求の段階ではありますが、大変良かったと思っています。

次に、スポーツ振興課の予算で、高齢者と小学生のスポーツ文化交流事業とは、具体的には、どのような事業でしょうか。

(伊藤スポーツ振興課長)

継続事業になります。市内小学校において、地域の高齢者と子どもたちが同じスポーツを楽しみながら交流の促進を図る事業となります。これは、各小学校で一回ずつ開催しています。各学校の対象は、学年ごとに行う学校もありますし、中川小学校みたいに全校児童やPTAを含めて一斉に開催している学校もありますので、各学校で実施形態が異なる状況です。老人クラブの会員のお手伝いをいただきながら、スポーツ推進員の指導のもと、スマイルボーリングやグラウンドゴルフなど軽スポーツを楽しみながら世代間交流を行っている事業です。

(安部教育長職務代理者)

平福記念美術館、田沢湖図書館に関係することですが、色々と寄贈されている作品を収蔵するスペースが大変手狭になっているというお話を伺っています。田沢湖図書館では、正式な収蔵庫が無い状況なので、せっかく寄贈された作品等が劣化する可能性があると思います。寄贈された文化財等が年々増えていくことは、いいことなので、今後、長期的な視野をもって収蔵庫の増設等に関する計画を立てていただきたいと思います。

(富木文化財課長兼平福記念美術館長)

現在、平福記念美術館では、手狭になった収蔵庫を補完するうえで、カルチャールーム(会議室)を仕切って代用している状況です。このようなことから、毎年、管理運営費の中で、収蔵庫増設の予算を要求している状況ですが、施設の老朽化に伴いキュービクルや冷温水機更新工事に係る予算を優先しなければならないという状況が続いています。

(安部教育長職務代理者)

平福記念美術館のみならず、田沢湖図書館等においても一部の増設に限らず、総合的な保管機能をもった収蔵庫があればいいのではないかという思いから発言をさせていただきました。

(安部教育長職務代理者)

新規事業で、仙北市少年少女合唱団育成事業とありますが、具体的には、どのような事業内容になるのでしょうか。まずは、市の少年少女合唱団を創設して育成していくということになると思われますが、対象校の範囲、対象学年や募集人数等、事業規模について伺います。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

今後、小中学校にご相談しながら進めていくこととなりますが、市内全小中学校の小学校高学年から中学生を対象にしたいと考えています。ただし、児童生徒が所属しているスポーツ少年団や部活動の練習日程の関係もありますので、多くの練習日を設定することは、難しいと思います。まずは金管バンドやオーケストラ部等に所属していて、音楽に興味のある児童生徒が少しずつでも集まってくれば良いと思っています。

(安部教育長職務代理者)

この事業への私の要望は、市内全域から募集していただきたいということと、市で募集をすることなので、万が一練習場所までの交通移動時に事故が起きた場合の補償等、安全面には配慮していただきたいと思います。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

現段階では、合唱団を立ち上げるための経費を計上しています。将来的には、補助金を交付して活動をしていただくという方向付けも考えられます。

(熊谷教育長)

ほかに質問等はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議案第24号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費については、ご異議ありませんか。

－異議なし－

議案第24号平成31年度仙北市一般会計予算の教育費については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に報告第33号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(戸澤教育部長)

報告第33号仙北市教育行政報告について、明日、11月30日開会の平成30年第7回仙北市議会定例会において別紙のとおり報告するものです。

【教育総務課】

◇台湾台北市立北投国民中学訪問について

11月4日から6日まで、佐々木生保内中学校長と私（教育長）、二人で台北市立北投国民中学を訪問して参りました。今回の渡航は、世界で2ヶ所だけにしかない「北投石」を有し、姉妹温泉となっている、玉川温泉と北投温泉をもつ地域として、生保内中学校と北投国民中学との姉妹校提携に関する意思確認及び交流内容についての協議を目的とするものでした。

この学校は、台湾内で優秀校に選出されている中学で、子どもたちの活発な文化・スポーツ活動とともに、郷土に結びついた積極的な実践活動に取り組んでいる、全校生徒1,100人の学校です。校長先生から、来年の桜の時期に是非訪日し、学校訪問をしたいとの意向を伺っております。

今後、交流内容等について、両校で英語担当教諭を窓口として協議をして参りたいと考えております。

◇学校適正配置に関する意見交換会について

11月13日から西明寺地区、角館地区、桧木内・上桧木内地区、中川地区において、学校適正配置に関する意見交換会を開催しました。

11月13日の西明寺地区意見交換会と、11月16日の角館地区意見交換会では、これまでの経緯や桧木内・上桧木内地区、中川地区における意見交換会の状況を説明し、「子どもたちのよりよい教育環境は、どうあればよいか」をテーマに意見交換を行いました。

11月22日の桧木内・上桧木内地区意見交換会と、11月28日の中川地区意見交換会では、今後の方向性等について意見交換を行いました。

桧木内・上桧木内地区では、通学時間の問題、健康面への不安、生徒や保護者の負担の大きさ、不公平感及び地域の衰退への危惧等の観点から、性急な適正配置を行わず、意見交換を継続していくこととしました。また、少人数のデメリットを軽減していくために学校間交流を積極的に行っていくことも確認し合いました。

中川地区では、今後適正配置に向けて、具体的なスケジュール等について協議を進めていくこととしました。

この後、西明寺地区、角館地区の保護者、住民にも桧木内・上桧木内地区や中川地区の状況を説明し、理解と協力を得ていきたいと考えています。

◇秋田県都市教育長協議会教育長・関係課長会議について

11月20日、グランデールガーデンにおいて、仙北市では初めての、全県都市教育長・関係課長会議が開催されました。

前半の仙北市教育活動の紹介では、「小さな国際文化都市の一員」にふさわしい特色ある教育として、ドローンを使用したプログラミング学習、田沢湖クニマス未来館を活用しての環境教育、台湾恵文高級中学や北投国民中学との交流などについて発表しました。

後半の意見交換会では、「登下校時等の安全確保に向けた取り組み」「情報モラル教育の充実に向けた取り組み」について、活発な討議を行い、有意義な意見交換となりました。

◇各種研究大会について

10月24日、角館小学校、角館中学校を会場に「伝え合う力を高める国語教育」をテーマに大曲仙北国語教育研究会が開催されました。どちらの会場でも、言葉を通して思いや考えを適切に表現し、生き生きと伝え合う子供の姿が見られました。

11月2日、生保内小学校、仙北市民会館を会場に、第25回東北小学校生活科・総合的な学習研究協議会秋田大会並びに第14回秋田県小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会仙北大会が開催されました。「つなげるんだ！ひろげるんだ！たかめるんだ！」を大会主題に全学年の授業が公開され、自ら課題をもち、互いに関わり合いながら、意欲的に学びを深めていく子どもの姿が見られました。遠くは静岡県からの参加者を含め、320人余りの参加者がありました。

当日は、仙北市教育研究会研究大会と兼ねて生保内中学校でも授業を公開し、市内小中学校の教職員や、こども園・保育園の職員も参加し、授業参観や熱心な研究協議が行われました。

また、文部科学省初等中等局 渋谷 一典(しぶや かずのり)教科調査官、文教大学 嶋野 道弘(しまの みちひろ)元教授、國學院大學 田村 学(たむら まなぶ)教授、秋田大学 濱田 純(はまだ じゅん)客員教授からのご指導もいただき、生保内小学校の実践に高い評価をいただきました。

◇児童生徒の活躍について

11月8日、秋田市文化会館で、第68回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、西明寺中学校2年猪本玲奈（いのもと れな）さんの作文、「『団結力』の提案」が中学生の部で優秀賞に入賞しました。

11月10日から中学校全県新人大会が開催されました。駅伝では、男子の部で角館中学校Aチームが第2位、女子の部でも角館中学校Aチームが第3位という素晴らしい成績を収めました。

柔道では、個人の部、男子60kg級で角館中学校2年小玉穰二（こだま じょうじ）さんが第3位、同じく81kg級で生保内中学校2年田口俊斗（たぐち しゅんと）さんが第3位、同じく90kg級で角館中学校2年蒲生純翔（がもう すみと）さんが第3位となりました。

◇台湾台中市立恵文高級中学来訪について

12月3日から3日間の日程で、台湾台中市立恵文高級中学一行40人（生徒34人引率6人）が教育旅行で仙北市を訪れ、12月5日には、角館中学校との姉妹校提携調印式を予定しております。

仙北市内の中学校が外国の中学校と姉妹校提携をするのは、初めてのことです。異文化に触れ、新たな視点を持ち、国際感覚を養うことが、これからの人材育成につながっていくものと期待しております。

◇総合給食センター（仮称）新築工事及び厨房設備工事について

先の議会臨時会において、ご可決いただきました総合給食センター（仮称）の建築工事及び厨房設備工事の入札が執行され、11月26日落札業者が決定いたしました。

建築工事が、小松・瀧神・寺沢特定建設工事共同企業体、厨房設備工事は富士開発・万景・アクサム特定建設工事共同企業体が落札しております。

現在、契約手続を進めており、今定例会に請負工事契約の締結議案を追加提案させていただきたいと考えております。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

仙北市の文化祭が各地区において盛大に開催されました。角館地区は10月13日、14日の両日角館交流センターにおいて、田沢湖地区は10月27日、28日の両日生保内市民体育館において、西木地区は11月4日に西木温泉クリオンと、隣接する西木林業者等健康増進施設を会場に、各地区文化祭実行委員会や芸術文化団体、学校等が一丸となって開催されました。

各地区それぞれ特色があり、作品展示、芸能発表など日頃の芸術文化活動の成果が多数披露され、3地区で延べ1,200人ほどの来場者の方々に、芸術文化に親しんでいただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市感謝状贈呈式について

11月3日、角館樺細工伝承館を会場に、約200名の皆様にご参加いただき、仙北市感謝状贈呈式を執り行いました。

贈呈式では、大正11年から41,000点を超える図書の寄贈を続けている株式会社新潮社佐藤隆信代表取締役社長、昭和39年から引き続き文化講演会を主催し、児童書の寄贈を続けている角館図書館後援会石黒直次会長、読書感想文コンクールを通じて子ども

の読書活動を推進した故西宮陽助さんに、市長から感謝状が贈られました。

◇新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念式典について

11月3日、感謝状贈呈式に続き同会場において、仙北市出身の佐藤義亮の偉大な功績を顕彰する「新潮社創業者佐藤義亮生誕140年記念式典」を開催しました。

式典では、株式会社新潮社と、角館図書館後援会等の地元団体と、仙北市との関わりを広く紹介するとともに、互いの良好な関係を未来へと引き継ぎ、読書活動を積極的に推進して行くことを誓い合いました。

式典の後には、角館図書館後援会主催の記念事業第58回文化講演会が開催され、作家の梨木香歩（なしき かほ）さんが「内なる旅をいくこと」について講演をされました。

◇「高井有一展」と新たな寄贈について

7月14日から11月4日まで、新潮社記念文学館で開催しましたアンコール企画展「高井有一展」は、1,417人のお客様からご観覧いただき、好評のうちに終了しました。

この度の展示品には、今年、奥様の中村輝子さんから寄贈された高井有一「帰還」100枚の原稿のうち冒頭部分の生原稿や早稲田大学卒業論文も含まれ、新しく展示した多くの写真とともに、先生のお人柄が偲ばれる展覧会となりました。

最終日の11月4日には、中村さんより長編小説「高らかな挽歌」703枚の原稿を新たに寄贈いただきました。今後も寄贈いただいた貴重な品々を大切に役立てて参ります。

◇「佐竹北家日記にみる天文現象展」について

11月10日から来年3月29日まで、企画展「佐竹北家日記にみる天文現象展」を開催しています。江戸から明治まで220年間綴られた佐竹北家日記から日食・月食・彗星の出現についての記録を抜粋し、古文書に触れたことのない方にも分かり易い画像を添えた展覧会です。

会期中は、大正9年に角館町白岩地区で発見された「白岩隕石」や明治期の錦絵集のパネル他、貴重な資料をあわせて展示します。多くの方々にご観覧いただきたいと思っております。

【文化財課】

◇伝建群防災施設整備事業Cブロックの完成と防災訓練の実施について

10月29日今年度の伝統的建造物群保存地区防災施設整備事業（国庫補助事業）のCブロック工事（河原田家・小田野家周辺）が完成いたしました。

この施設整備により、全自動エンジンポンプ、屋外消火栓、遠隔操作盤の更新等を行い、伝建群の防火対策施設が更に充実しました。

11月18日、この防災設備工事の完成にあわせて、角館北地域自主防災会20人と文化財課職員で、防災設備の説明と放水銃を実際に使った操作訓練等を行いました。

【平福記念美術館】

◇「開館30年記念 平福徳庵・百穂父子展」について

10月2日から11月18日まで「開館30年記念 平福徳庵・百穂父子展」を開催いたしました。

開館30年を記念して、仙北市が誇る日本画家、平福徳庵・百穂父子の力作を、今回初めて出品された作品も含めて58点を展示し好評を博しました。

紅葉シーズンとも重なったことから、期間中の入館者は2,066人と多くの皆様にご

来館いただきました。

◇「児童生徒県南美術展」について

12月1日から来年1月27日まで、「第41回児童生徒県南美術展」を開催いたします。

この美術展は、子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に昭和53年より実施しているものです。

今年で第41回を迎えるこの美術展は、冬の児童生徒県南美術展として恒例となっており、県南の参加校（小学校58校 中学校23校）からも好評を得ております。子どもたちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ご観覧いただきたいと思っております。

－資料により説明－

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

－質問なし－

報告第33号仙北市教育行政報告については、承認いたします。

(熊谷教育長)

次に、その他の時間といたします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(三浦北浦教育文化研究所長)

10月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。

はじめに、いじめについては小学校5件、中学校2件の認知件数の報告がありました。

次に、10月の不登校についてですが、小学生2名、中学生12名、計14名となっております。

以上、10月のいじめ、不登校の状況です。

(熊谷委員長)

10月の報告事案について、質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷委員長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(浅利教育次長兼教育総務課長)

平成30年第11回仙北市教育委員会定例会会議録のホームページ公開についてです。ページに沿ってご説明いたします。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、浅利次長へ連絡してください。

他にありませんか。

(伊藤スポーツ振興課長)

前回の定例会でご報告させていただきました第60回東日本医科学生総合体育大会スキー競技大会現地実行委員会に対する補助金についてですが、その後、自主財源で大会を運営できるのではないかと結論となり、要望がありました30万円の補助金交付につきましては無くなりました。また、1月にインカレ、全日本のスーパー大回転の大会がたざわ湖スキー場を会場に開催されることがほぼ決定しています。この大会にも補助金30万円の交付についての要望があったわけですが、大会会長が教育委員会に見えられた際に補

助金の交付が無くても、今後も是非たざわ湖スキー場で開催したいというお話がありましたので、この大会につきましても補助金の交付は無くなりました。

以上、要望のありました補助金交付に係るスキー大会2件につきましては、補助金を交付する必要が無くなりましたので、ご報告いたします。

(熊谷教育長)

ほかに報告等はありませんか。

(熊谷教育長)

それでは、以上で平成30年第15回仙北市教育委員会11月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後3時05分)